浜松市博物館情報

ナウミン　シジ丸

Hamamatsu City History Museum News

2026.10.15
No.376

重要文化財指定記念テーマ展
「木簡は語る ―伊場遺跡群出土木簡にみる古代の浜松―」見どころ紹介

木簡のライフサイクル

開催期間
2026 年
11/14～12/27

伊場遺跡群出土木簡には、千三百年前の人々の息遣いが聞こえてきそうな、生々しい痕跡が残されています。その多くは、古代の敷智郡の郡役所で使われたものですが、ここでは「文字」と「下端部」の状態に注目してみましょう。

左の写真にある二点の木簡をご覧ください。まず、文字の状態ですが、右側の木簡には通常の墨字がみられることに対し、左側の木簡は墨がほとんど見えず文字の部分が浮き出ています。これは長く風雨にさらされたことで、墨がない部分の劣化が進んだことによるものと考えられます。

次に下端部を比べてみましょう。右側のものは木肌が荒れていますが、左側のものは丁寧に整えられています。前者は使用後に人為的に折り割られたものであり、後者は製作当時の姿をそのままとどめていると考えられます。

右側の木簡は、配下の郷長を郡役所に呼び出した命令札、左側の木簡は川辺で祈りを捧げるために使われた祭祀具です。個々の状態を詳しく観察することで、木簡がどのように作られ、使われ、そして土の中に埋もれていったのかというライフサイクルを読み解くことができるのです。

テーマ展では、こうした特徴もご覧いただければ幸いです。





浮き字（伊場 39 号木簡）
墨字があったところは墨による効果で劣化が遅れ、浮いたように変化している。長期間、風雨にさらされていたことがうかがえる。





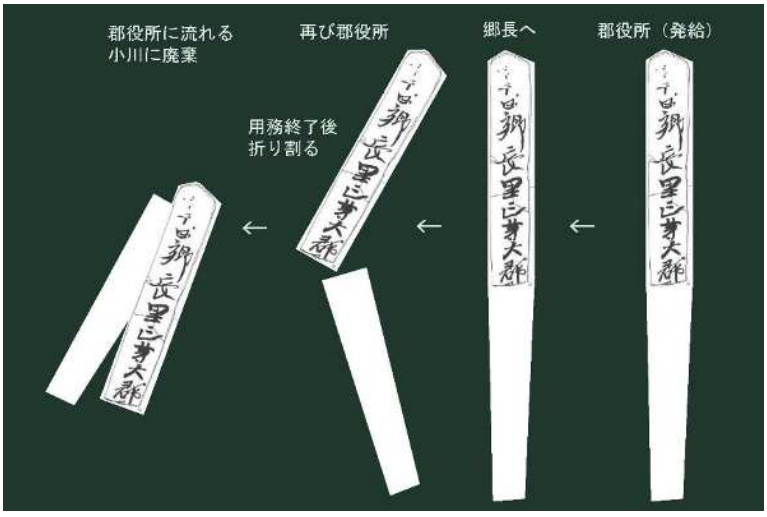
通常の墨痕（伊場 18 号木簡）
木の板の上に墨の文字がみられる。文字の部分とそれ以外の部分に劣化の違いがない。廃棄後、比較的短期間のうちに埋没したとみられる。



整った下端部（伊場 39 号木簡）
木簡の下端部は丁寧に加工された状態が観察できる。下端部を土中に突き刺して祈りを捧げていたことがうかがえる。



折り割られた下端（伊場 18 号木簡）
木簡の下部は荒く裂け、文字も途中で途切れている。元々の形状から、下部を折り割ったものと考えられる。



郡符木簡の想定される移動経路と折り割り、廃棄の過程（伊場 18 号木簡）
伊場 18 号木簡は、郡役所から配下の郷長を呼び出した命令札（郡符木簡）である。この木簡は郡役所で発給された後、一旦、郷長の手にわたり、郷長が持参して再び郡役所に戻ってきたものと考えられる。用務終了後には下半部を折り割り、最終的に郡役所に流れる小川に捨てられたものとみられる。

【博物館所蔵資料の紹介】

銅鐸

（浜名区三ヶ日町日比沢猪久保出土・静岡県指定文化財）





出土状況を再現した様子

令和８年（2026）８月に、博物館では常設展の弥生時代の部分を一部更新し、銅鐸1点を展示に加えました。高さが約96cmと大型で、浜松市域で出土した銅鐸としては最大級です。昭和40年（1965）に浜名区三ヶ日町日比沢の猪久保でみかん園の造成工事中に出土しており、その状況から鰭を上下にして穴に埋められていたと考えられています。

この銅鐸は鈕（吊り手）に飾り耳がついていることなどを特徴とする近畿式という種類に分類されています。近畿式銅鐸は出土地の分布から、近畿地方で作られたと考えられています。

一方、浜松市域では、鈕に飾り耳がつかない三遠式という種類の銅鐸も出土しています。三遠式銅鐸は愛知県東部（三河）や静岡県西部（遠江）に多く、東海地方で作られたと考えられています。博物館では、近畿式銅鐸と三遠式銅鐸の形の違いを見比べることができるように展示しています。

猪久保で出土した状況を含め、銅鐸には、意図的に地面に埋められているものがあります。その理由は明らかになっていませんが、集落を守るため境目となる場所に埋められたとする説や、聖地のような場所に埋められ、祭りの際に取り出されていたという説、弥生時代の社会が変化し、祭りに使われなくなった時期に埋められたとする説などがあります。

催し物のご案内

★テーマ展「木簡は語る～伊場遺跡群出土木簡にみる古代の浜松～」
11月14日（土）～12月27日（日）
伊場遺跡群から出土した7～10世紀の木簡が国の重要文化財に指定されるのを記念し、選りすぐりの木簡を一般公開します。

【関連事業】
- 講演会「伊場遺跡出土木簡からわかる古代の浜松」
  12月13日（日）13：30～15：00（要申込）
  講師：渡辺晃宏氏（奈良大学教授）
- 講座「伊場遺跡出土木簡を語る」
  12月6日（日）10：00～12：00（要申込）
- ギャラリートーク（展示解説）
  11月14日（土）10：30～11：10
  12月27日（日）13：00～13：40
- 講座＋見学会「伊場遺跡群をめぐる」
  11月21日（土）10：00～16：00（要申込）
  場所：浜松市立西図書館
- 冬休み体験館企画　12月26日（土）
  1 お話＆体験「古代文字のひみつをさがせ！！」
  10：30～11：30（申込不要）
  2 タイムスリップ歴史ガイド「木簡ってなぁに？」
  13：00～13：30（申込不要）

★コーナー展示「私たちのテレビ史」
10月6日（火）～11月3日（火）

★コーナー展示「社会科自由研究優秀作品展」
10月10日（土）～10月25日（日）

★コーナー展示「道具たちの100年」
10月29日（木）～2027年5月9日（日）

★文化の日イベント
11月3日（火･祝）　観覧料無料
- コーナー展示「私たちのテレビ史」ギャラリートーク
  10：00～10：40（申込不要）
- 蜆塚遺跡ガイドツアー
  13：30～14：30（申込不要）

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし
11月14日（土）、12月12日（土）
14：00～14：30（申込不要）
会場　旧高山家住宅（蜆塚公園内）

左からホームページ、X（旧ツイッター）、インスタグラム、Facebook

※各事業の詳細は、HPやSNSでご確認ください。
※イベントは、変更、中止になる場合があります。

浜松市博物館　開館時間：9時～17時

10月～12月の休館日：　10/5, 13, 19, 26, 28　11/2, 4, 9, 16, 24, 25, 30　12/7, 14, 21, 23, 28～31

〒432-8018　浜松市中央区蜆塚四丁目22番1号　電話：053-456-2208　FAX：053-456-2275

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp　ＨＰ：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/